



先月の活動(9月)

日本語教室 9/5(M) 9/12 9/26 (3回)
9/19 教室開放日
9/5(土) BNN事務局会議(恩地・田中英・高田・福井)
9/16(水) お茶イベント打ち合わせ(恩地・渡邊)
9/27(日) KIFAスピーチ大会(恩地・高田・福井)

※(M)はミーティングです。



参加人数(9月) ※19日は教室開放日

	9/5	9/12	9/19	9/26
学習者	21人	15人	11人	10人
スタッフ	21人	19人	7人	13人



今月の活動予定(10月)

日本語教室 10/3(M) 10/17 10/24 10/31(4回)
10/6(火) KIFA広報部会(恩地)
10/17(土) オリーブ茶道体験(授業後半)
「お抹茶を飲んでみよう」



会員の動き (9月)

〈入会〉李 江
〈退会〉なし 〈休会〉なし



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2026年 10月号

2026・10・17 発行

第294号



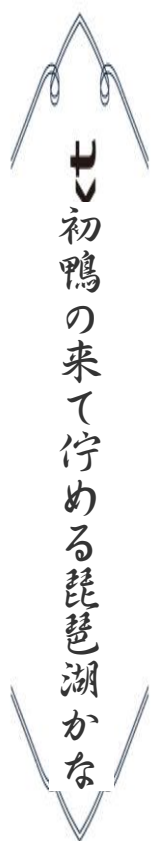
オリーブ バス旅行



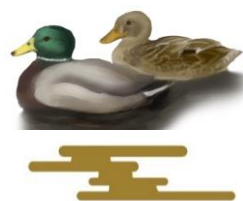
日時: 11月15日(日) 行先: 鳥羽水族館

ラッコの見学は1分間のみ!

野生のラッコ個体数の激減こともない、ラッコの輸入はワシントン条約で厳しく制限されています。国内の水族館でラッコを見学できるのは鳥羽水族館のみ。「極地の海」コーナーに並んで1回10人ずつ1分の見学です。しかも、ラッコの体調によって見学中止日も多いようです。貴重な体験、目に焼き付けましょう。ジュゴンの飼育も国内では鳥羽水族館だけ(世界でも2館のみ!)。そもそも、飼育種類数が日本一であることが、希少生物に出会える理由でしょう。ちょっと古いけど、なかなかすごい、鳥羽水族館。



ケンジさんの俳句



李 江
(中国)

中国生まれです。
来日28年。
わからないこと多いです。
ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



中川先生のへんてこ日本語

お見かけされた場合は

JR主要ターミナルの駅構内で、こんなアナウンスを聞いた。「お困りの方をお見かけされた場合は、声をおかけください。」これは敬語の間違いで、「・・・お見かけになった場合は、・・・」としなければならぬ。この種の間違いは、最近非常に耳につく(目につく)。テレビやラジオで、「お出かけされる際には、雨具をご持参ください。」「お休みされる前に、コップ一杯の水をお飲みください。」もちろんこれらは、「お出かけになる」「お休みになる」とするのが正しい。

ではなぜ間違いが生じるのか。「お見かけ」や「お出かけ」が丁寧体であることに気づかぬまま耳慣れた普通体であると捉え、「旅行される」「出発される」などの「漢語名詞+される」と同じルールを当てはめた、いわば「過剰般化」であると言える。「出発する」↓「出発される」/「ご出発になる」となり、「話す」↓「話される」/「お話しになる」とするのは、日本語教育の重要な指導項目である。ややもすると、日本語母語話者より日本語学習者の方が正しい敬語を使うことになる。

公共アナウンスなどで、間違った日本語が流れると、それに耳慣れてしまい、正しい日本語として認識されてしまうのは困ったものである。先の「お見かけされた」が、利用者の多い駅構内であるだけに事は深刻である。このアナウンスは、AI音声だったが、いったんAIが学習してしまうと、それが日本語文法であると規則化してしまう。

こんなAI音声を「お聞きになった」場合は、日本語の先生にお声かけください。
元京都外国語大学教授 中川良雄

192



編集後記 熊本被災地支援の続きですが、その後「英語の通じない外国人が多いから、やさしい日本語を話せる人が欲しい」という要望が出てきているとか。被災地で私たちの活躍の場がありそうです。(フクイ)

やさしいところで 多文化共生 日本語学習支援者セミナー

地域での日本語学習支援に役立つ知識や経験を学び、日々の活動に活かせるヒントを見つけます。学習者との対話や交流をより豊かにし、それぞれの地域での活動につなげることを目指します。



第1回 10月18日(日)14:00~16:00 キラリエ草津

「知っておきたい地域日本語教育の「今」と「これから」 遠藤 知佐 氏

「伝わる日本語を考えよう!」伊原 節子 氏

第2回 11月7日(土)14:00~16:00 フェリエ南草津

「学習者の『話したい』を育てる教室づくり」澤田 幸子 氏

第3回 12月5日(土)14:00~16:00 ライズヴィル都賀山

「対話に生かす『くらしの日本語 in しが』」片平 協子 氏

第4回・第5回詳細未定(12月下旬~1月下旬)

申込はこちらから



オリーブ&SHIPS 日本語スピーチ大会

2026・8・29(土)キラリエ草津

初級 5名

①	キャンベル ケビン スコット	アメリカ	日本の旬の食べ物	オリーブ
②	趙梓舒(ちょうじしゅう)	中国	学校のちがいがから学んだこと	SHIPS
③	オマル コンセプション エルナンデス	スペイン	日本とスペインのちがいが	オリーブ
④	烏云 其木格(うくも ききかく)	中国	故郷の紹介	SHIPS
⑤	コダマ ロゼリ アンジェリカ	ブラジル	学ぶ楽しさ	オリーブ

中上級 3名

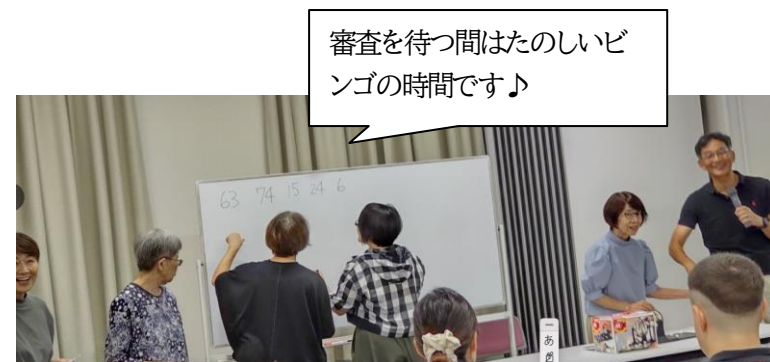
①	段姝雅(だんしゅうや)	中国	楽しい高校生活	オリーブ
②	李芳林(りほうりん)	中国	娘のメダカ	SHIPS
③	段芝焔(だんしゅうえ)	中国	さまざまな日本体験	オリーブ

今年はSHIPSの学習者さんをお迎えて合同でスピーチ大会を実施しました。SHIPSから、スタッフ3名、見学者7名の参加があり、にぎやかな大会になりました。中学生、高校生の参加もあり若々しい雰囲気の会でした。

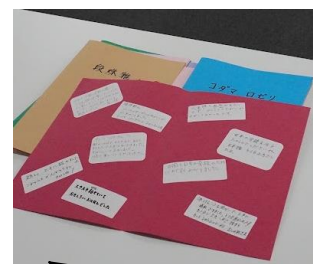
審査員長の恩地さんより

「オリーブ・SHIPS スピーチ大会の感想スピーチ大会に出場されたみなさん、ありがとうございます。どのスピーチも素敵でした。誇りを持って自国を紹介してくれた人、日本で好きになった食べ物を取り上げてくれた人、日本の学校での発見や驚きを語ってくれたり、将来の夢に言及された人もいれば、家庭の日常生活から成長する子どもを見守る暖かい親の姿を見せてくれた人もいました。どのスピーチからも心に栄養をいただきました。発表してくださったみなさんに大拍手！」

また、今年はSHIPSからもたくさんの先生方が参加してくださいました。ありがとうございました。」



審査を待つ間はたのしいビ
ングの時間です♪



今年もひとことメッセージを
書いてもらいました。



司会の豊村さん



第5回 草津市国際交流協会

2026・9・27(日) キラリエ草津

外国人による日本語スピーチ大会

KIFAのスピーチ大会にはオリーブから3名が参加しました。初級で趙梓舒さん(SHIPSで参加)、中上級で段姝雅さんがそれぞれ「3位 びわ湖日本語ネットワーク賞」を受賞しました。

初級の部1位はエチオピアのタカ ベレン ハイレさん。やさしい日本語を使って「未来の自分へのメッセージ」を語りました。2位マレーシアのアマド ラフィさんは、たまたま道に迷って絶景を見つけた経験から「まっすぐな道が一番いい道とはかぎらない」と気づき、インドネシアのエカノビタサリさん(中上級2位)は、何度抜いても生えてくる雑草から、しぶとく生きる「草の言葉」を受け取ります。中上級の部1位中国の周星至さんは、たまたま選んだ進路が開けていく経験から「答えがないからこそ人生はおもしろい」と語りました。それぞれが人生の折々に感じたことばは、わたしたちの人生にも当てはまることばかりで、とても感銘を受けました。



ここでも審査員長の恩地さん、お疲れさまでした。



オリーブの仲間がたくさん応援に集まりました。
みんなでパチリ！

わたくしごとですが……熊本へ被災地支援に行ってきました。

私が熊本に行ったのは、7月25日の熊本地震からちょうど3週間経って、県外のボランティアの受け入れが始まった直後です。県内の民間ボランティア団体から協力の要請があり、私の所属する団体(アジア協会アジア友の会)の一員として参加しました。今回の地震の被害の中心は南部の八代市が中心で、約300名の被災者が避難している八代市体育館に行きました。熊本市の支援物資がやっと大量に運び込まれ(3週間後でやっと届いた)、被災者たちに配られます。その際出る大量の段ボールゴミの整理が主な仕事です。たかが段ボールも量が多いとけっこうたいへん。その他、被災者の方にお弁当を配ったり、炊き出しのお手伝いをしたり、段ボールベッドを組み立てたり。私は、阪神大震災も東日本大震災もお役に立てなかったので初めての参加で、いろいろ勉強になりました。一緒に連れて行った高3の孫にもいい刺激になったかな？まだまだ言いたいことがいっぱい。興味があったら、また私にお尋ねください。(フクイ)



熊本にはシャチホコ付きの立派な屋根が多く、その屋根を残して下の部分が一瞬でつぶれたそうです。



こんな段ボールゴミを



こうやって整理するとスッキリ♪



うあー、まだまだある！



被災された家の庭にときどき見かけた白いインスタントハウス。ふくらませて内側に断熱材を吹き付けて完成。